

C北九だより NO.19

社団法人 日本山岳会 北九州支部

Kitakyushu Section of The Japanese Alpine Club

発 行: 社団法人日本山岳会北九州支部 事務局: 北九州市門司区新原町 12-27

関口興洋方 TEL·FAX 自宅 093-382-6436

携帯 090-8919-6776

発行人:秦野一彦 編集人: 関口興洋·伊藤久次郎

山登りの

分水嶺を歩こう

分水嶺踏査活動再開

まだ残暑きびしい毎日ですが、スポーツの秋、食欲 の秋がやってきました。分水嶺も夏休みを終わり、こ れから本格的に踏査活動が再開されます。

先ずはAチーム、Bチーム、Cチームが 10 月から活 動を開始します。

分水嶺踏査計画

Aチーム (CL 原<u>広美)</u>

10月9日(土) 阿東町・木戸峠~篠目・田代

B チーム (CL 西村信子)

10月24日(日) 大ガ峠 (289m) ~花尾山 (669m)

~荒ガ峠(369m) 約 6 2km

11月28日(日) 荒ガ峠 (369m) ~大滝 (607.6m)

 $\sim \triangle$ (555.8m) \sim 天井岳 (602.2m)

~大水峠(383m) 約 6.5km

12月19日(日) 大水峠(383m)~権現山(560.4m)

~大平山 (270m) ~ \triangle (350.5m) ~

桂木山(701.6m)~山中峠(250m)

約7 km

Cチーム (CL 磯野文雄)

10月31日(日) 石畑峠~鬼ガ城(620m)~亀ガ原 7.3km

Dチーム (CL 大楠益弘) については、10 月以降から開始予定。

(1) 天候について

実施予定目前目の NHK - TV 18:50 の天気予報 で当該地域の降水確率が 30 %以上(含 30 %)であ れば中止する。その場合、予備日として一週間後に 実施予定。

(2)集合時間、場所について

A チームは、午前 6 時・下関玉姫殿前集合。 B,C チームは、午前7時、門司港駅に集合。

(3)参加申込み

参加希望者は参加するチームの、次の幹事のどなた かに前もってご連絡下さい。

Aチーム幹事

原 広美 0832-45-5490 西村 信子 0930-33-4618

Cチーム幹事

Bチーム幹事

細川 功 0832-45-3362 日向 祥剛 093-592-0275 横山 洋子 0832-53-3031 高畠 拓生 0948-53-1740 中村 昭彦 0832-54-0317 片山 俊昭 0930-25-1719

Dチーム幹事

磯野 文雄 092-962-1537 大楠 益弘 090-3196-8939 大城戸昌敏 093-612-7476 末夕 史忠 093-371-5168 西村 一利 092-661-0652 関口 興洋 093-382-6436 楠田 和彦 093-613-3358 馬場 基介 093-371-8656

装備の注意点

- (1) 踏査コースの中には登山道が無く、ヤブコギの踏 査があります。ナタまたはカマを各自持ってきて下 さい。服装は黒はさけて赤など目立つ色がよい、蜂 は黒を好む。11 月 15 日~2月 15 日まで狩猟が解禁 になります。
- (2) 熊予防のため、ザックに鈴をつけてください。
- (3) ヘッドランプをご持参ください。
- (4) 蜂よけネットをご持参ください。
- (5) 手袋は、会で準備いたしますが、各個人のものも 持参ください。
- (6) 通常の登山装備、弁当、水筒、帽子、タオル、雨 具、行動食、スパッツ、救急薬、その他。
- (7) 各自 1/25000 の地図と磁石を持参、持ってない人に はコピーする。
- (8) 1人300円諸経費として徴収する。
- ※ 現在支部では、GPSが2台しかありません。 4 チームが、同じ日に計画が重ならないよう横 の連絡をとって目にちを決めてください。

◇◇◇◇会務報告・お知らせなど◇◇◇◇

GPSの基礎講座に参加



アウトドアで使われ ているGPSは小型化 が進み、2000年より 100m程あった誤差が 10m程度までになり、 格段に精度が高まっ

最近GPSを使う登

山者が増えており、また、日本山岳会でも日本列島中央分 水嶺の踏査登山に使用していることから、7月27日(火) 午後1時から午後4時まで、小倉北区のキャンプツー小倉 店カルチャールーム室で、GPSの基礎講座が開かれた。

主催はキャンプツー小倉店で担当はJAC会員村上強 氏、講師は同じくJAC会員で、下関山岳会会員、山口県 山岳連盟指導委員長、日本体育協会山岳A級スポーツ指導 員などを務める細川功氏。

先ずカルチャールーム室でGPSの基礎をスライドや資料を見ながら、約一時間程講座を受け、その後実際にGPSを使って駐車場を歩き回り、参加者全員が体験した。

参加者11人。その うちJAC 北九州支部会 員は、細川功(講師)、 村上強(世話係)、関ロ 興洋、西村信子、原広美、 中村昭彦、高城季美子、 伊藤久次郎(記事取材)



「九重登山教室」 講師サポーターを募集します

13465 大楠 益 弘

○期 日 9月30日(木)集合時間後日案内

○予定コース 牧ノ戸峠~西千里ガ浜~久住山(往復)

○費 用 現地集合の場合 2,000 円 マイクロバス 利用の場合 5,000 円程度

○サポート内容 大里中部公民館登山教室参加者に対する 実施指導、誘導

○申 込 み 9月28日(火)までに大楠宛

TEL 090-3196-8939

当支部の大里中部公民館での登山教室は次のとおり実施いたしました。

第一回 5月22日(土) 14:00~16:00 登山と健康、山の歩き方、山の装備 講師大楠 第二回 6月19日(土) 14:00~16:00 山での生活、山での食糧、平素のトレーニング 講師大楠

第三回 7月17日 (土) 14:00~16:00 登山用具の選び方、使い方、地図コンパスの使い方 講師村上 強氏

第四回 8月21日(土) $14:00 \sim 16:00$ 自然環境と人間、危機管理 講師板倉健一氏

申込者は21名、出席率は80%程度でした。

村上さんは、1896 年ネパール チョ・オュー遠征 6073 m無名峰3回登頂、マッシュルームピーク (6515m) 2回 登頂のベテランですので、話の内容は具体的でもあり、みなさん感銘を受けていました。

板倉健一さんは、1972 年から毎年冬季大山登頂を果たしてきた雪男で、国内難関岳峰はもとより 1978 年にはインドヒマラヤ ナンダデヴィ(7434m)遠征も果たしています。この山は、「いつかある日」の詩で有名なアンリ・デュプラが遭難死したことでも知られています。話の内容はやや高度だったかも知れませんが、受講者には山への憧れ、夢を抱かせるに充分だったと思います。他に関口興洋さん、西村信子さん、浦田和夫さんにもサポートしてもらいました。厚くお礼申し上げます。

今回は公民館の地域市民講座として、初めて公的事業に 貢献できたと思っています。末々史忠さん、大城戸昌敏さんの支援があり実施できたことに感謝し、この事業を今後 広範囲に広げてゆけたらと思っています。なお、受講者の 中からリーダー2名を選出してもらい、第1回目の山行と して、上記の通り計画してもらいました。当支部としては ある面では講師、ある面では助言者としてのサポートをし てゆきたく考えています。ウィークデイなので参加しづら いかも知れませんがご協力をお待ちしています。

忘年パーティのお知らせ

期日 12月11日(土)午後5時から

場所 下関市シーモールホール (下関駅前)

会費 5,000 円

なお、遠隔地の方々には、宿の手配も致します。

九重山情報 (F PMC会報「かたつむり」163 号から) **久住山避難小屋にトイレ新設!**

大分県は、「ごみゼロおおいた作戦」の一環として、久住山の環境汚染防止を図るため、久住山の避難小屋に、環境に優しいバイオ技術で屎尿を分解するトイレを設置することとした。

昭和39年に造られた現在のトイレは、ご承知のとおり老朽化 して汚れがひどい。屎尿を直接、地下に浸透させる方式であるが、 実際のところは、ほとんど地下に浸透していない。

このため、年から年中、激臭が漂い、真夏はハエが飛び交っている。登山者は、めまい覚悟で利用しなければならないのが実情である。

そこで、県では、美しい久住山のイメージを損なわないよう、トイレの周囲にバクテリアを入れた土を敷設し、タンクから一定量ずつ屎尿をこの土に流し込んでバクテリアで分解する方式のトイレを導入することとした。水は使用した後に浄化しながら再利用し、電力は太陽電池から供給するとのこと。ただし、バクテリアは寒さに弱く、冬は活動しなくなるので、冬季は屎尿をタンクに溜めたままにし、春にバクテリアを入れ替えて通常処理するそうである。

県は、「秋山シーズンに入る今年10月までに完成させたい」 としている。

(大分商工会議所の田口さんからの情報です)

中高年登山者集団となった 日本山岳会 (JAC)

全国山岳遭難対策協議会第二分科会から JAC指導委員会担当理事 黒川 恵

(JAC会報「山」No. 711 の記事から抜粋)

中高年登山者の指導と育成 ■未組織登山者と中高年

近年6年間の分科会でいつも課題となるのが、未組織登山者の育成と中高年登山者の遭難増加である。それに関連して、「ツアー登山」のありかたも大きなテーマーとなってきている。また、青少年の学校登山や山岳部活動の低迷などもとりあげられてきている。そんななかで、わが身と日本山岳会をふりかえってみたときに「我々にはいったい何ができるのか?」と考えさせられるのである。

私自身、本籍は日本山岳会で、現住所が登山専門旅行業者だと心底思っている。大学山岳部とJAC学生部で育ってきたと言ってもいい。登山に明け暮れたおかげで、仕事も山に関係することになってしまったわけだ。だからJACには感謝している。ご恩返しのつもりで理事会の末席に座ってもいる。いまでは出身校のOB会活動よりJACの仕事に時間をかけていると言っても言い過ぎではない。

そこでJACは何ができるのかを考えてみた。

■中高年登山者集団 JAC

およそ6千人の会員の平均年齢が 60 歳を越えたいま、日本山岳会は押しも押されもせぬ中高年登山者集団と言えるようになった。「新ハイキング・クラブ」や「おいらく山岳会」、「みろく山の会」、「ふわく山の会」など長い歴史をもち、活発な山行を行っている数多くの中高年山岳会と平均年齢においてついに肩を並べることができたのだ。

しかし、JACは、中高年山岳会を標榜してきたわけではないからそこにこれからの課題がある。

■「社会人山岳会」的同好会活動への期待

組織内組織とも言えるJACの各同好会は、同期入会者の集まりが発展して同好会になったケースが多くあると思われる。スケッチや写真などテーマがはっきりした同好会とはすこし趣旨が異なるから、同好会の山行は、むしろ本来の社会人山岳会的と言えるのではないだろうか。

せっかく日本山岳会へ入会された会員番号5桁の会員の退会が最近はどうも目立つようである。なぜだろうか。私たちが入会したころは、JACの仲間と国内登山をしようとは思っていなかったし、そういう機会も多くなかった。学生部の延長から会員になったようなもので、そんな仲間との海外遠征が夢でもあったし、競争相手としてよい刺激にもなった。

でもいまは大きくちがっているのではないだろうか。 JACに入会される中高年登山者のみなさんが、もし、 JACで山仲間を見つけて生涯登山を楽しもうと考え ておられるとしたら、「会山行」の少なさにきっとびっ くりし、残念がるのではないかと思う。

同好会活動が活発になることは、そんな新規入会者 への期待に応えることにつながってゆくと、私は思っ ている。そして、それは、登山会が直面している課題 でもある「未組織登山者の育成」へ大きく貢献し、ひ いては山岳遭難事故の防止にもつながることだと言え るのではないだろうか。

山行記 雄大な景色に大感激!

初めての北アルプス (白馬三山) によせて 北九 384 矢 富 博 雄



白馬大雪渓にて

8/2日から8/5日 までの間、我等6人パ ーティで北アルプスの 登竜門、白馬三山へ 行って参りました。

初めての北アルプスなのでワクワク感の反面、3,000m に近い山を登るということで正直不安もあり

ました。

夜行列車の寝不足と張り切りすぎが重なり、初日の雪渓を過ぎたあたりからスタミナを消耗し、バテ気味になり皆についていくのが精一杯でした。

下界では連日30℃を越す毎日なのに、さすが雪渓の上は涼しく別世界。又、葱平のあたりは始めてみる高山植物のお花畑で、高校生らしい監視員が親切にお花の名前を教えてくれました。

バテた私は、我らパーティの皆の 励ましにより、なんとか初日の目指 す白馬山荘にたどりつくことが出来、 大変感激いたしました。山荘とは別棟にはレストランがあり、ここで飲んだビールの味と山頂からの大パノラマは最高でした。登山を続けてきてよかったと感無量でした。

8/4は、昨夜からぐっすりと睡眠もとれ体調は万全で白馬三山の杓子岳と鑓ヶ岳を登り、目前に雄大な剣岳や唐松岳、五竜岳、鹿島鑓ヶ岳などアルプスのそうそうたる山容が間近にせまり大感激でした。この光景は、一生自分の心の中に焼きついてすばらしい思い出となるでしょう

鑓が岳を後に天狗山荘まで足をの



白馬岳頂上にて

ばし、昼食をとり最後の宿泊場所標高 2,100m に建つ白馬鑓温泉小屋に着き 汗を流しくつろぎの時間が過ごせまし た。幸い天候にも恵まれ怪我もなく最 高の山行でした。雄大な雪渓と大自然 が作りあげたお花畑はさすが日本を代 表する百名山でした。

最後に私たちを案内してくれた正会 員の原さんには感謝の気持ちを送りた いと思います。

参加メンバー6名

C L 北九382 吉村 保夫

S L 11990 原 広美 北九383 中村 周二

北九391 岡本千哿子

北九384 矢富 博雄 大河原由美

(原稿、写真とも、原さんからのメ ール通信による)

山行記録

井原山(983m)登山

7月11日(日) 天候晴 気温 25~山頂 26 度 霞

北九 322 塩 屋 薫



井原山山頂で

上り 瑞梅寺バス停上〜アン ノ滝〜ダルメキ谷〜井原山 2:45 下り 井原山〜水無鍾乳洞手 前〜キツネのカミソリ探索〜左 の前原自然歩道〜アンノ滝〜瑞 梅寺バス停駐車場 2:25

行程

6:00 玉姫殿前集合出発〜トンネル 〜都市高速春日IC〜黒崎IC〜国 道3号〜都市高速香椎入口〜愛宕出 口(帰り石丸入口)国道202号〜唐 津方面に進み瑞梅寺標識左折〜井原 交差点直進〜瑞梅寺ダムを右に見て 瑞梅寺バス停上の登山口8:15着。両 面に多数駐車。

記録

8:25 右の古い林道のゆるい坂道を 登り8:50 アンノ滝と鍾乳洞との分岐 を右に進む。瑞梅寺川の源流の沢を 右に左に (7回) 渡りながら9:13 アンノ滝着、写真を撮り9:20 出発。これより急登となり階段状の道をジグザグ登り9:55、一本 腰掛けあり(4547歩)。10:00 出発、途中ブナの原生林の中のミヤコ笹の道を行き、山頂まで496mの案内板を左に見て10:53 鞍部に出て左

折し 11:10 山頂着。気温 26 度。各方面より多数の登山者が来た。眺望は霞んで見えないが晴れてたら 360 度のパノラマが見られる。11:25 よりランチタイム。12:15 出発、ミツバの林を行き 12:20 左へ下り(965m)、最後の急坂を下りダラダラ道をキツネの



キツネノカミソリ

カミソリを探索しながら行くが、所々に幼芽状態で見頃は中旬以降か。下の日当たりの良い所では少し咲いていた。鍾乳洞手前を左に登り前原自然歩道のアップダウンの道を行き、アンノ滝に出て沢を渡り 14:40 登山口に下山。標高 320m 登り 6,613 歩降り 10,218 歩 14:55 出発、往路に戻る。

参加者

13991 中村昭彦 11990 原 広美 批389 森本信子 批359 八木國子 批322 塩屋 薫 計5名

山行記

登山の原点! 坊ガツルでテント泊!

北九 361 立 石 サ ツ ミ

この度、坊がつるでのそれも 2 泊のキャンプに参加させていただくことになり、ヤッタ!! 年甲斐もなく嬉しくて弾む心で9月3日、7時、待ち合わせ場所の椎田駅へ。

いつもお世話になっている西村さんの車に佐藤さんと乗り込み、おしゃべりをしている内に九重吉部登山



平治岳をバックに坊ガツルでのキャンプ

口に到着。下関グループの原さん、中 村さん達と合流して2泊の食料の分担 があり、ザックにうまく入らない。ぶ ら下げたりしていると原さんが「まだ まだ入るよ」と、パッキングの仕方を 教えて頂きました。とても担ぎやすく なり、勉強になりました。皆様はテン トや共同装備、食料とかで 20kg 位担 がれているのに、10kg そこそこで音 を上げてはいけない、頑張ろう、ハガ クレツリフネソウに元気を頂き、いざ 出発!!

大船林道を経て昼前に坊がつる到 着。アケボノソウやサワギキョウが私 達を迎えてくれた。四面山なる坊がつ るでのキャンプ、嬉しいなぁ~。早速、 テント設営。共同装備や食料などをひ とまとめにして、昼食後、半日散策の 立中山へ。

途中、ママコナやアキノキリンソウ



九重・立中山頂上で

など咲いており、散策後法華院温泉に て汗を流し、湯船より大船山を眺め、 ♪なんて気持いいこと♪ しばし、幸 せな気分に浸りました。

みんなの楽しみの夕食。やっと私の 出番が来た!今晩は豚汁にきゅうりの 酢の物。明日の夜はカレーに野菜サラ ダ。メニューもバランスが取れていて、 材料も無駄がなく、さすが経験豊かな

リーダーと感心しました。食事作 りに男性群も積極的に参加され、 みんなで協力し合って作った食事 は最高に美味かった!! また中 村喫茶店ではブルーマウンテンの コーヒーを味わい、山の中で香り 豊かなコーヒーを頂けることは最 高の幸せ・・・・・最後に原さん に「岳人の歌」と「シーハイル」 を教えて頂き、坊がつる賛歌をみ

んなで合唱して楽しい夏の思い出・・ ・が出来ました。計画をたててくださ ったリーダーと皆様方に心より感謝致 しております。本当に有難うございま

これからもご指導をよろしくお願いし ます。

(原稿は西村信子さんからEメールに 打ち直して受信)

女性隊6人 槍ヶ岳登頂!

8/6~8/11 北アルプス 双六岳~槍ヶ岳

13804 横 山 洋 子



登頂した槍ガ岳をバックに記念撮影(大喰岳にて)

メンバー

批360 三木靖子 批379 坂本千佐子 批385 藤山辰乃 批386 室田 安代 女性6名

今年の夏のアルプス計画は、新穂高 温泉から双六岳、槍ヶ岳コースに決め ました。女性6名で、2カ月前から毎 週土、日曜日のどちらか訓練のため山 行を重ね、お互いの意思の疎通と体力 アップを計りました。

8/6 小倉駅より、夜行バスで 出発、皆、期待と不 安の入り交じった様 子でバスに乗り込み ました。

8/7 名古屋バ スセンターに7時45 分着。名古屋から J Rで高山へ。バスを 乗り継いで新穂高温 泉へ着きました。こ の日の行程は、左俣

林道をわさび平小屋まで約2時間の道の りです。夕方から、激しい雷雨がありま した。

8/8 5:00 にわさび平小屋を出発。 昨晩の雨がうそのような快晴でした。ゆ るやかな登りが続き、槍ヶ岳から穂高へ の稜線を見ながら、鏡平小屋に到着。名 物のカキ氷の味は格別。体の芯まで冷え ました。色とりどりに咲き誇る花々を愛 でながら、弓折岳分岐を過ぎると双六小 屋、そして、泰然とした鷲羽山が目の前 に見えてきます。「あと、もう少し」と 励まし合いながら、正午過ぎに双六小屋 に到着。まずは小屋の前のテラスにて、

生ビールで乾杯! 昼食を済ませ、サ ブザックで双六岳まで往復2時間。無 事今日の行程を終えました。夜半に、 やはり雨が降っていました。

8/9 いよいよ、今回の山行のメ インルート、西鎌尾根~槍ヶ岳までで す。お昼から天気の崩れが気になった ので、予定を繰り上げ4:45分、まだ、 薄暗い中出発しました。まずは、樅沢 岳。ここからは、今から辿る西鎌尾根 の長い稜線と雄大な槍ヶ岳が見えます。 四方八方に見える山々に見守られなが ら、いくつものピークを越え、又、ミ ネウスユキソウ、イワキキョウ、ウサ ギギクなどの可憐なお花を眺めながら、 最後の岩礫の急な道をジグザグに登り つめてゆくと槍ヶ岳山荘がある肩に、 お昼前に到着しました。その後雨が降 り出し、夕方になっても止まず、明日 の登頂が心配でしたが、夜半には止ん だようです。

8/10 御来光を山頂で迎えようと する人で、暗い内から大渋滞でした。 私達は、一段落した後、登り始めまし たが、それでも1時間かかりました。 山頂からは 360 ° 「アルプスの真ん中 に立っている」と感激ひとしおでした。 全員、槍ヶ岳の登頂を終え、後は今日 の宿泊地、徳沢をめざして下るだけで す。でも、お天気も良いし、槍ヶ岳山荘 の主人、穂刈さんのアドバイスもあって、 氷河公園の天狗原経由で下ることにしま した。天狗池では、池に映る逆さ槍も見 ることができ、カールの雄大さを感じま した。徳沢まで長い下りでしたが、最後 の宿泊地「徳沢ロッジ」で今回の山行を 締めくくり、ビールで乾杯! お風呂に もゆっくり浸り、心地よい疲れの中で 寝ることができました。

8/11 徳沢ロッジを 6:30 分に出発。上高地まで約2時間の歩きです。 ビジターセンターで今回の山行を振り返り、各自、おみやげを買って、帰りの途に着きました。

お天気にもどうにか恵まれ、5泊6

日の山行を無事終えることができました。皆それぞれ、槍ガ岳登頂の目標を持ち、トレーニングに励んだおかげだと思います。皆さんの頑張りに感謝したいと思います。又、いろいろ、アドバイスを頂いた先輩の方々にお礼申し上げます。

山行記

飯豊連峰縦走

13643 関 口 興 洋

日程: 2004年8月1日~5日 行程: 8/1 東京~喜多方~山都 ~川入(村杉荘泊)

参加者3名。あとの2名は、東京の山仲間で、北村和彦氏(ビジター)と 平本己美恵さん(同)。

8/2 快晴。 村杉荘の車で秀峰登 山口(780m)まで送ってもらう。

5:20登山開始。すぐに急登がはじ まる。避難小屋3泊用の食料と燃料でか なりの荷物があり体にこたえる。やがて 磐梯山の展望台にでる。ここからの山容 は実に秀麗。やがて尾根道にでると、良 い水場が近い。水場から一時間ほど進む と樹林帯から抜け出し、剣ガ峰の登り口 につく。ここから岩稜地帯がはじまるが、 岩が乾いているので登りやすい。ここを ぬけると三国岳(1640m)の避難小屋であ る。8月1日に改築オープンしたばかり でピカピカの立派な小屋である。ここか ら、長年憧れていた飯豊の最高峰である 大日岳(2128m)と飯豊本山(2105m)が視 界に入ってくる。ここから眺める本山は 特徴ないが、大日岳は谷筋に残雪をまと い、どっしりと大きな姿を見せ最高峰に ふさわしい景観である。三国岳から種蒔 山(1791m)までアップダウンもあり、暑 さで消耗する。やがて切合小屋が右手前 方に見えほっとする。マツムシソウの群 落が現れると小屋は近い。14:20到 着。素泊まり2500円、350m1缶 ビール800円也。

8/3 快晴、気温15度C、5:00 飯豊本山を目指し、5:10出発。今年は雪解けが早いせいか、チングルマはすでに終わり、アオノツガザクラ、コイワカガミなどが盛り。草履塚の頂きでは、大日岳が朝日を受け、神々しい。御秘所の小さな岩場を通過すると一ノ王子への登りにかかる。登り切ると本山小屋と飯

豊神社が目の前である。ここの小屋も 三国小屋と同じ構造でまだ新しい。飯 豊本山への道は平坦で、行く手に大日 岳と主稜線の山並みを眺め、秋あかね の舞う気持ちよいプロムナードであ る。途中で固有種のイイデリンドウを 見つける。濃い色調でなく淡い色合い である。神社から40分ほどで本山の 平凡な頂きに到着(10:00)。1 等三角点を有する山らしく360度の 展望がきく。南に会津駒、日光白根、 ヒウチ、至仏、平ヶ岳、越後駒など。 東に吾妻連峰、東北に蔵王連峰、北に 月山、鳥海山の山並みが一望。本山か ら御西岳(2013m)への縦走路はゆった りとした起伏の中に続く花街道であ る。コバイケイソウ、マツムシソウの 群落は実に見事。大日岳がますます大 きく迫ってくる。御西小屋にザックを 預け、大日岳へ向かう。ちょうど盛り のハクサンイチゲの群落に出会う。小 屋から1時間45分で大日岳の頂きに たつ。昨日から歩いてきた道程がよく 見渡せる。さらに明日歩く烏帽子岳 (2018m)、北股岳(2045m)など主稜線 上の山並みが美しく延びている。小屋 着16:15。久我山高校の生徒が5 張りのテントを設営している。頼もし い限り。素泊まり2000円、缶ビー ル1000円。

8/4 晴れ、気温19度、5:3 0今日の目的地である門内小屋に向け 5:50出発。檜山沢の源流付近は雪 が消えた直後でいろいろな花が咲き乱 れ、写真をとるのに忙しい。天狗ノ庭、 御手洗ノ池を通過し、しばらく登ると 烏帽子岳である。3等三角点の山であ るが、展望をさえぎるものはない。飯 豊本山はこちらから眺める方がよい。 梅花皮岳から150m下ると梅花皮小 屋のある鞍部にでる。ここの小屋は山 形県の小国山岳会のメンバーが管理人 を勤めている。ここも、いい水場が近 くにあり3 L 補給する。最後の関門 である北股岳への急な道にとりつく。 標高差170mの登りであるが、荷物 が重くなった上に背後から容赦なく照 り付けられるのでたまらない。40分 頑張って2025mの山頂にたどりつ く。主稜線最後の2000m峰である。 烏帽子同様、ここも360度の展望が きく。雪渓で有名な石転ビ沢を覗くと 迫力のある光景が展開する。門内岳に 向かう。かなり下るとギルダ原にでる。 このあたりはマツムシソウが多い。わ ずかで門内岳(1887m)に至る。小屋は その直下に位置する。小屋到着15: 00。夕食までビールで喉を潤す。 ここは有難いことに700円である。 小屋代も1500円と一番やすい。夜中 に外へ出ると、満点の星である。また 下界を見れば、新潟、新発田方面は 一面の光の海。それに比べると米沢盆 地はひっそりとした地味な夜景で好 対照。

8/5 晴れ、気温20度、4:3 0早朝の澄んだ空気を通し、越後平野 の彼方に弥彦山、さらにその先に佐渡 の金北山まで見渡せる幸運に感謝しな がら下山にかかる。4:30飯豊山荘を 目指し出発。地神北峰から丸森尾根に 入る。しばらくガレた嫌な道が続くが、 丸森峰(1500m)から樹林帯に入りほっ とする。夫婦清水で旨い水を補給。陽 射しが高くなるにつれ、気温も上がり 標高差1500m近い急な下り道はや はりこたえる。足下に神経を集中しな がら、飯豊山荘の温泉とビールのみを 楽しみに下り続ける。丸森分岐から5 時間でようやく飯豊山荘(400m)に到 着。4日間の汗を温泉で流し、無事の 下山を祝し3人で乾杯。米坂線の小国 駅経由、米沢から山形新幹線で帰京。

(Eメール原稿)

自然保護委員会発足40周年記念上高地全国集会の参加報告

13643 関 口 興 洋

9月10日~12日の日程で、西糸屋山荘において本部、信濃支部共催で開催された。

出席者は、平山会長、芳賀副会長ほか本部、支部より総計115名。

以下、集会の概要を報告します。

9/10

前夜祭の行事として、資料・映像委員会の羽田 栄治委員長の解説で「昭和初期の上高地」ほか、 同氏が編集された立山博物館所蔵の幻の映画を鑑 賞。立山博物館所蔵のフイルム「雪の立山、針ノ木 越え」は、1923~24年、積雪期の北アルプスを 踏破し、全容を35mm映画に記録した伊藤孝一(JAC 481番)のまぼろしの作品を基に制作されたもので ある。

9/11 午前の部

篠崎理事の挨拶のあと、支部報告が行われた。

北海道 (新妻支部長)

自然児学校5年間の活動状況について

青森 (村田委員)

白神山地ブナ林再生事業について

岩手 (村上委員長)

早池峰山の裾につけられた小田越え県道迂回 ルート等について

山形 (佐藤委員)

鳥海山ニッコウキスゲの植生調査について

信濃 (穂苅委員長)

上高地の自動車乗り入れ規制について

今年から従来のマイカーに加え夏季シーズン(7月24日~8月22日)観光バスの乗り入れ規制が実施された。

東海 (小川委員長)

猿投の森づくりか活動について

岐阜 (西条副支部長)

2年目を迎えた乗鞍のマイカー乗り入れ規制 について

関西 (田村 義彦)

大台ケ原の登山道補修工事について

山陰 (小西 毅)

大山山頂の緑復元活動について

広島 (前垣委員長)

広島支部の自然保護の考え方と新体制について 自然保護とはおこがましく、自然環境委員 会と呼ぶことにした。 首都圈 (大船委員)

尾瀬電気自動車乗り入れ問題と生藤山の

一万段階段建設計画について

午後の部

自然保護40周年記念集会

挨拶 平山会長、安曇村村長

<プログラム>

<u>映像</u>構成

「日本山岳会自然保護委員会の40年」

解説 山本良三・松本恒廣

パネルデイスカッション

「日本山岳会自然保護活動のこれから」

21世紀を迎え、地球環境問題が人類の最大の課題として提起されている。

新しい時代認識の上に立って山岳環境の問題をどう捉え、どう行動していくか、

日本山岳会の社会的役割は何かについて真 剣に考えなければならない。

話題提供

「モンゴルからの発信」 江本 嘉伸

パネラー

上 幸雄(山の ECHO 代表理事・日本 トイレ協会理事長)

奥原 宰 (西糸屋山荘経営者)

下嶋 聖 (東京農大エベレスト・ローツ 工環境登山隊メンバー)

関 清(山の自然学研究会事務局長)

夜の部

懇親会 挨拶 信濃支部長

9/12 分科会

- (a) 燒岳登山(信濃支部)
- (b) 自然観察ツアー (山の自然学研究会)
- (c) 上高地歷史散歩

以上 (Eメール原稿)



(上高地・河童橋 Q Itoh)

山行計画のご案内

10月の山行

① 第21回全国支部懇談会 くまもと集会と交流登山(阿蘇高岳)

支部懇談会

期日 10月2日(土)13:00~ 場所 熊本交通センターホテル

交流登山 (記念山行)

期日 10月3日(日)

登山 阿蘇高岳

観光 阿蘇周辺又は熊本市内参加者は、9月16日現在9人

② 日本山岳会01会と北九州支部による

久住交流登山のお誘い

計画 01会と北九州支部

(担当 磯野、西村)

行程 10 月9日(土) 東京〜福岡空港(集合場所1)〜 長者原(集合場所2)〜久住山〜法華院温泉山 荘(泊)

10月10日(日) 法華院~雨ガ池~長者原~湯布院~由布岳又は倉木山~湯布院(泊)

10月11日(月) 湯布院~福岡空港~東京

参加者数 17人程度(9月13日現在、東京から9人、北九支部から8人程参加予定)

参加申込 磯野 (電話 092-962-1537)

参加者には、後日、計画書にて、詳細をお知らせ致します。

11月の山行

宮崎ウェストン祭(高千穂町)と 諸塚山、祖母山登山

主催 宮崎支部

期日 11月2日(火)~3日(水、祭日)

交通 中型貸し切りバス

定員 20人(申込みは9月1日現在17人)

費用 7,500 円位

担当 高畠拓生まで

自宅 〒 821-0012 山田市上山田 335-36 ハガキ又は FAX(会社・佐野商店) 0948-53-0720

締切 9月末まで

(先着20人になり次第締め切ります。)

12月の山行

日本百名山「雲取山」と 年次晩餐会のご案内

昨年同様、東京での年次晩餐会 (12月4日)出席の機会をとらえ、深田百名山の雲取山(2018m)登山を計画しています。概要は次の通りです。尚年次晩餐会には本部会員だけしか出られません。

日程 平成16年12月1日

(下関より寝台特急あさかぜで上京)

同2日 雲取山(雲取山荘泊)

同3日 下山(東京泊)

同4日 年次晚餐会(東京泊)

同5日 帰路

費用概算 65,000円(復路、航空運賃の特 別割 引利用が前提)

申込期限 平成 16年 10月 25日

申込先 事務局 (関口まで FAX093-382-6436)

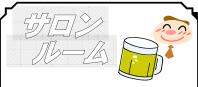
申込者にはおって詳細案内書を送ります。

平成17年

2月の山行

伯耆大山 · 冬山合宿

期日 2月11日(金、祭日)~13日(日) (計画中 担当板倉)



9月のサロンは、22 日 (水) 10月のサロンは、27 日 (水)

支部では、毎月第4水曜日の夕方、 杯をかたむけながら山の話などを話 題にして、だべっています。どなた もどうぞ気軽においで下さい。

時間 午後6時30分から 場所 小倉北区魚町「コール天」

(魚町銀天街、酒房武蔵より 西へ約30m)

費用 3,000 円前後

(ワリカン制です)

編集後記

○私伊藤Qは、先月の約20日間を 病院で、猿の如く反省の態度で過ご りました。理由は、何の因果か分か りませんが、突然の網膜剥離にみこと かれ、失明寸前でした。今のところ 左目だけですが、周りの者は「きり は飲み過ぎ」とか言うし、小されて は飲み過ぎ」とかけません。殴らいても 親父からいつも頭をぶん殴らて、 りませんが、では・といわれて、 頃現れたのでは・といわません。 は安静で、力仕事や頭にショック は厳禁とのこと。おかげさまでしば らくは山に登れません。但しショッ クのない酒は、退院のその日から飲んでおります。今もチビリチビリとやりながら・・。秋の夜、酒は静かに飲むべかりけり。僕酔

(伊藤Q)

○山の原稿は

事務局又は〒826-0032 田川市西平松 11-8 伊藤久次郎までお送り下さい。方法は郵送、FAX、メール、どれでも結構です。出来ましたら写真(縮小しないで)も一緒にお送り下さい。 Eメールのアドレスは

nkchb785@ybb.ne.jp

電話・Fax は、0947-42-2772 (IP 電話 050-1499-2772)